



2021年11月12日

各位

会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 Global CEO 本田 謙  
(コード番号：6094 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 C F O 永井 秀輔  
(TEL. 03-6721-1740)

## 営業外費用及び特別損失の計上並びに通期連結業績予想数値と 実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年9月期において持分法による投資損益、投資有価証券評価損、貸倒引当金、関係会社株式評価損の計上を行い、2021年8月13日に開示した2021年9月期（2020年10月1日～2021年9月30日）の通期連結業績予想数値と実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 持分法による投資損益の計上

当社の持分法適用会社が、四半期純損益を計上したことにより、当社では2021年9月期第4四半期連結会計期間（2021年7月1日～2021年9月30日）において、持分法による投資損失として102百万円を営業外費用に計上いたしました。

その結果、当連結会計年度において、持分法による投資損失として85百万円を営業外費用に計上しております。

#### 2. 投資有価証券評価損の計上

当社が保有する投資有価証券のうち、株式の実質価額が下落しているものについては、投資有価証券評価損として連結で206百万円を特別損失に計上いたしました。

#### 3. 投資先に対する貸倒引当金の計上

当社の投資先に対する債権に対して、長期的には回収を図るものの、当該債権の回収可能性について、合理的かつ保守的に検討した結果、貸倒引当金繰入額として単体及び連結で115百万円を特別損失として計上いたしました。

#### 4. 子会社に対する貸倒引当金の計上

当社の子会社に対する債権に対して、長期的には回収を図るものの、当該債権の回収可能性について、合理的かつ保守的に検討した結果、貸倒引当金繰入額として単体で173百万円を特別損失として計上いたしました。なお、個別決算上で計上される当該損失は、連結決算において相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

5. 関係会社株式評価損の計上

当社が保有する子会社株式のうち、株式の実質価額が下落しているものについては、関係会社株式評価損として単体で161百万円を特別損失に計上いたしました。なお、個別決算上で計上される当該損失は、連結決算において相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

6. 2021年9月期 通期連結業績予想数値と実績値との差異  
(2020年10月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	EBITDA	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 29,000	百万円 900	百万円 1,000	百万円 1,250	百万円 —	円 銭 —
実績(B)	29,499	1,009	1,112	1,323	580	32.2
増減額(B-A)	499	109	112	73	—	—
増減率(%)	1.7	12.1	11.2	5.9	—	—
(参考)前期実績 (2020年9月期)	24,878	211	△221	510	△669	△42.0

7. 差異の理由

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、従来予想値を公表しておりませんでした。国内事業・海外事業ともに順調に成長したことに加え、株式会社インティメート・マージャー及び株式会社デジタルリフトの関係会社株式売却益や投資有価証券評価損、貸倒引当金を計上した結果、2021年9月期通期で580百万円（前期比+1,250百万円）となりました。

以上